学校だより
翔　空
No.　２　平成２４年　４月１６日（月）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空」の由来

校舎のシンボル壁画である「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

第３学年修学旅行　大成功！

ほぼ好天候に恵まれた今回の修学旅行。３年生６０名全員が参加し、班行動や最終日のクラス単位の「フジテレビのお仕事（番組制作）」など、ほぼ期待どおりの出来栄えでした。ほっと一安心です！

１日目の鎌倉・横浜では、夕方に雨にたたられ、写真撮影に戸惑ったものの、病人も出ず、無事に一日の活動を終了することができました。

２日目の東京都内班別行動とディズニー散策は、舞浜集合に２班ほどが多少遅れて着いたり、暗闇の中、間違ったホテルに向かった班が出たりと、多少ハプニング続きのところはありましたが、想定内のものと考えています。

３日目はクライマックスの「フジテレビのお仕事」（学級ごとの体験学習）でした。一人一人が真剣に与えられたお仕事（役割分担）に黙々と取り組み、最後には立派な１０分程度の番組が出来上がりました。とても見応えのある生徒の活動状況でした。帰り際には、思い出の制作品をＤＶＤで持ち帰ることができました。帰校後のまとめの報告会が今から楽しみです。私にとっては久しぶり（７年ぶり）の修学旅行引率でした。思い出に残る数少ない修学旅行となりそうです。

まだまだ伸びる可能性を秘めた本校の生徒の一面を見ることができました。最後に恥ずかしい話ですが、正直言ってこの旅行を通し子どもたちの顔と名前がやっと８割程度一致するようになりました。

様変わりする修学旅行

今回の旅行をとおして新しい発見がいくつもありました。

その中のひとつは、修学旅行が様変わりしてきているということです。

〔思い出の雷門〕

班別行動は珍くないとしても、体験学習のあり方が変化しています。今回、本校が採用した**「フジテレビのお仕事」**は、ＪＴＢさんが提供してくださったものですが、これこそが生徒たちに体験させたかったもので、昨年度、大震災の影響により職場体験ができなかった本校の生徒にとっては、大いに満足のいくものであったに違いありません。一人一人が一つの目標に向かって関われる点が何より感心しました。生徒の感想を聞くと、「ちょっと恥ずかしかったけど、楽しかった」などの感想が多く、今回の体験をとおして、将来の職業選択を決めた生徒も中にはいるのではないかと思います。

〔完成間近の東京駅〕

味のある話から...

Ａ【 英語のことわざ 】

ちょっとした経験や体験を、お茶のみ話程度にみんなの前で話をするのは、特に問題はないと思いますが、ある本で読んだとかインターネットに載っていたとかで、本当のところを確認もせずに人に伝えるのは危険というものです。→ ***"A little learning is a dangerous thing."***

直　訳：少しばかりの知識は危険である。（学問の生かじりは人を誤ることがある。）
→　**ことわざ　『生兵法は大怪我のもと』**
読み方：「ア リトル ラーニング イズ ア デンジャラス スィング」

Ｂ【知っていて良い情報】

～親の期待に応えたい気持ち（子どもなりにいろいろと考えています）～

よく言われるとおり、「子どもは親の期待を裏切らないようにひそかに努力する」ものです。今週行われる授業参観でも、そんな子どもの一生懸命な姿がどこかに見られるはずです。どんな子にも良い点が沢山あります。ご家庭においては、過去に起こった余計な出来事などを持ち出さずに、気がついたらその場でその１点のみを集中してうまくほめればよいのです。それがほめ方のポイントです。（**一つ叱って三つ褒める**）

☆大切なお知らせ☆

今年度のＰＴＡ活動のスタートとなるＰＴＡ総会が、今週２０日（金）に実施されます。当日の日程は以下のとおりです。ぜひ、お時間を見てご参加願います。

１）授業参観　　１３：１５－１４：０５
２）ＰＴＡ総会　１４：２０－１５：２０
３）学年総会　　１５：３０－１６：３０

※できましたら最後までお付き合い下さい。